

回旋偏位検査—自覚的検査⑤Pola testの時計テスト



目的

上下斜筋麻痺やA-V型斜視に伴う遠見での回旋偏位の検出と定量

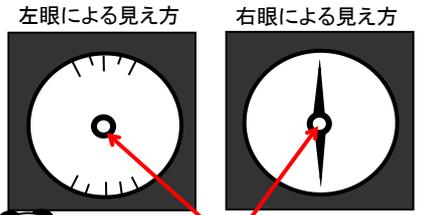
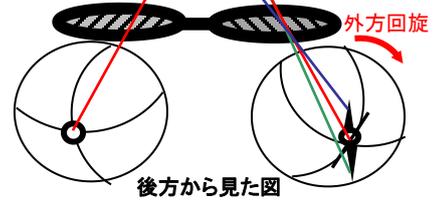
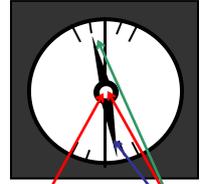
準備物 偏光フィルタ・ポラテストの時計テスト

屈折矯正下遠見にて、通常、回旋偏位があるとと思われる眼に時計の針が見えるように偏光フィルタを装着させ、検査機器の対応距離にて頭をまっすぐにして時計テストの中心部を見るように指示する



通常 5m。
融像視標があってもずれる場合はプリズムで中和する。
融像視標があっても両眼分離しているのでは正位でないとずれる可能性がある。
また、融像視標があるので斜位の場合、回旋も融像する可能性もある。

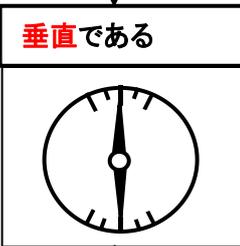
例) 右眼 5° 外方回旋斜視
両眼での見え方



偏光板をそのまま上下逆にするか 180° 回転させて左右を逆に装着する なら見える文字板と針の見える眼が 反対になるので、必ず検査前に片眼ずつカバーしてどちらの方が見えているかを確認すること。

YES 時計の針は 12 時と 6 時をさしているか? NO

* 図は右眼に針が見える場合



回旋偏位なし

時計の針が見える眼の外方回旋斜視(位)

時計の針が見える眼の内方回旋斜視(位)

この場合、両眼分離しているので斜視となっているが、日常、複視があつて傾いて見える意識があると斜視ではあるが、この検査だけでは斜視か斜位かの判別はできない。

時計の針は 12 時又は 6 時からどちらに何目盛傾いているかを答えさせる



目盛りは 5° 刻み。

例) 左側に 1 目盛ずれている!



傾いている方向を指などで示すようにさせると間違えないよ。

その傾きと目盛が回旋偏位の方向と大きさ(単位は度)

記載例)

Pola 時計テスト
R: excyclo 5°



屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

判定基準) 平井淑江: 視能学 P322 での報告

第一眼位で
正常者の平均: 0.33±0.31° 外方回旋偏位



自分の結果を書いておこう!